

【航空宇宙海洋系専攻】

航空宇宙工学分野及び海洋システム工学分野の基盤的技術の有機的な連携により、全地球的な視野から、人類の持続可能な発展と地球環境の保全との調和を目指す先端的工学分野を開拓し未来を担い、国際的に活躍しうる技術者・研究者を育成する。

本専攻は、航空宇宙工学分野及び海洋システム工学分野の2分野で構成する。

《航空宇宙工学分野》

航空宇宙工学分野では、同分野の基盤的かつ先端的技術に立脚して、人類の持続可能な発展と地球環境の保全との調和を図るために必要な航空宇宙の先端的工学分野を開拓し、未来を担う人材を育成する。

◆中百舌鳥キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 宇宙工学	教授	コギソ ノゾム 小木曾 望	システム工学、信頼性工学、レジリエンス工学、最適設計、宇宙工学、宇宙構造システム、複合材料、モーフィング翼	kogiso
	准教授	ナカムラ マサオ 中村 雅夫	宇宙環境工学、数値宇宙プラズマ実験・解析、宇宙天気	m.n
2 航空宇宙制御工学	教授	シモムラ タカシ 下村 卓	航空宇宙制御工学、航空機/宇宙機の動力学/運動学/誘導制御、柔軟宇宙構造物の振動制御、数値最適化	takashi.shimomura
	講師	カナタ サヤカ 金田 さやか	システム制御工学、システム同定、マルチロータヘリコプタ、未知環境の移動ロボット	kanata
3 航空宇宙システム工学	教授	ツジイ トシアキ 辻井 利昭	航空宇宙航法システム、衛星航法測地工学、航空宇宙情報工学、最適推定	tsujii.toshiaki
4 航空宇宙流体力学	教授	ササキ ダイスケ 佐々木 大輔	航空宇宙流体力学、空気力学、低レイノルズ数流れ、数値流体力学、空力音響解析、空力設計、最適設計、進化アルゴリズム、機械学習	daisuke.sasaki
	准教授	サカウエ ショウジ 坂上 昇史	航空宇宙流体力学、空気力学、乱流遷移、乱流制御、超音速混合促進、計算流体力学	shoji-sakaue
5 航空宇宙構造工学	教授	イワサ タカシ 岩佐 貴史	航空宇宙構造工学、薄肉柔軟構造動力学、画像計測、衝撃応答、膜構造	iwasa.takashi
	助教	ヤマノ アキオ 山野 彰夫	流体構造連成動力学、薄肉柔軟構造動力学、小天体表面探査ロボット	yamano_aero
6 航空宇宙推進工学	教授	モリ コウイチ 森 浩一	航空宇宙推進工学、熱流体工学、宇宙輸送システム、ビーム推進、プラズマ推進、スペースデブリ	koichimori
	講師	ヒエジマ トシヒコ 比江島 俊彦	航空宇宙推進工学、圧縮性流体力学、数値流体力学、渦の不安定性、スクラムジェットエンジン	hiejima
	助教	オガワ シンイチロウ 小川 秦一郎	航空宇宙推進工学、超音速燃焼、燃焼工学、数値流体力学	shinichiro.ogawa

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

《海洋システム工学分野》

海洋システム工学分野では、海洋に関わる人工システムと、海という自然システムの両方についての深い理解に基づき、海洋における自然と人間活動の調和を図る総合的な技術開発を担う人材を育成する。

◆中百舌鳥キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 海洋輸送工学	教授	カタヤマ トオル 片山 徹	船舶工学、高速艇工学、海洋工学、浮体運動学、復原性、操縦性、推進性能、耐航性能、風力推進船、海洋構造物の非線形運動、水槽試験	katayama.marine
	講師	タニグチ トモキ 谷口 友基	船舶工学、海洋工学、制御工学、浮体運動学、浮体式波力発電、水槽試験	taniguchi.marine
2 海洋構造工学	准教授	イクシマ カズキ 生島 一樹	構造工学、船体構造解析、非線形有限要素解析、大規模数値計算、並列計算	ikushima.marine
	准教授	ツボゴウ タカシ 坪郷 尚	造波抵抗、海洋構造物、超大型浮体式構造物、流力弾性	tsubogo.marine
3 海洋システム 計画学	教授	アリマ マサカズ 有馬 正和	海洋システム計画学、ヒューマン・ファクター、海中ロボット工学、海洋政策研究	marima.marine
4 海洋空間利用 工学	教授	ハシモト ヒロタダ 橋本 博公	船舶システム制御、海洋資源工学、船舶復原性・操縦性、船舶海洋数値流体力学	hashimoto.marine
	准教授	ニヘイ ヤスノリ 二瓶 泰範	水産養殖場で用いる自動航行船や作業船、浮体式洋上風力発電、海洋構造物に働く流体力と運動、1次産業の機械化・自動化	nihei
	助教	ヒガキ タケフミ 檜垣 岳史	自律運航船、機械学習、数値流体力学	higaki.marine
5 海洋環境情報 工学	教授	ナカタニ ナオキ 中谷 直樹	海域環境モニタリング、海洋環境計測、海洋生態系工学、生態系モデル、海洋資源工学	nakatani.marine
	准教授	アライ レイ 新井 励	海洋環境計測、海洋音響工学、海洋光学、計測工学	arai.marine
6 海洋先端シス テム工学	准教授	シバハラ マサカズ 柴原 正和	溶接力学、FEM による熱弾塑性解析、画像計測、船舶海洋構造力学、大規模構造解析	shibahara.marine

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

【機械系専攻】

機械系専攻では、機械工学における重要な課題を、多角的、俯瞰的な視点で認識・考察して、人にも環境にも優しい持続可能な社会の構築に向け、先導的にその克服・解決を発想し実践する技術者・研究者を育成する。

本専攻は、機械工学分野の1分野で構成する。

《機械工学分野》

◆中百舌鳥キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 熱プロセス 工学	教授	イヨタ ヒロユキ 伊與田 浩志	過熱水蒸気・湿り空気、水、複雑流体などが関わる様々な移動現象解析に基づく産業機械の開発、湿度の計測と制御装置の開発、色彩と光沢の評価装置の開発、渦流動や液滴を利用した新規攪拌・混合プロセスの開発	h-iyota
	講師	マスダ ハヤト 増田 勇人		hayato-masuda
	助教	フジモト エミコ 藤本 恵美子 ¹⁾		e_fujimoto
2 環境熱工学	教授	ワキモト タツロウ 脇本 辰郎	界面活性剤添加流れの抵抗低減メカニズム、波力発電システムの開発、界面活性剤水溶液薄膜の安定性、高速気流による壁面付着微粒子除去	wakimoto
3 流体物理学	准教授	オオモリ タケシ 大森 健史	マイクロ・ナノ流体力学、特に界面近傍での多重スケール性に着目した研究、固液の濡れと摩擦の力学	t.omori
4 知能システム	講師	イマヅ アツシ 今津 篤志	生活支援ロボット、特殊移動ロボットの開発、リハビリ支援機器の開発	imadu
	助教	タカイ アスカ 高井 飛鳥		ataikai
5 生産加工工学	教授	カナサキ ジュンイチ 金崎 順一	表面科学的・光物性学的手法を用いた固体分析、光を用いた超精密加工と新物質創成、金属系抗菌材料の開発、微生物腐食の事例解析	kanasaki
	准教授	カワカミ ヒロシ 川上 洋司		hkawakam
6 動力システム 工学	准教授	タキヤマ タケン 瀧山 武 ²⁾	内燃機関の制御、知能化ビークルの開発	takiyama
7 ロボット工学	教授	タカダ ヨウゴ 高田 洋吾	アクアロボットや橋梁検査ロボットの開発、ロボット周りの流動解析	takada
8 材料知能工学	准教授	ナカタニ ハヤト 中谷 隼人	炭素繊維複合材料の成形プロセスの最適化、強度と破壊、異種材接合、損傷許容性、金属材料を用いたマルチマテリアル化、新規材料デザイン	hayatonakatani
9 材料数理工学	教授	ヤマサキ トモヒロ 山崎 友裕	超音波による材料の非破壊評価、FRP 成形の超音波モニタリング、知的材料の振動制御、機能的流体を用いたデバイスの開発	t-yamasaki
	助教	オオシマ ノブオ 大島 信生		nobuo-oshima
10 材料機能工学	教授	カネコ ヨシヒサ 兼子 佳久	先進 SEM 法による疲労解析、ナノ構造膜の電気めっき、バルクナノ金属、ミクロとマクロの変形を繋ぐ研究、高分子材料の変形評価、デジタル画像を用いた変形測定	kaneko
	准教授	ウチダ マコト 内田 真		m_uchida
11 材料物性工学	講師	ミヨシ エイスケ 三好 英輔	金属材料の微細組織形成シミュレーション、金属材料の界面特性および力学特性の数値解析	e-miyoshi
12 材料先進工学	講師	クワハラ タクヤ 桑原 卓哉	マルチスケールマテリアルモデリング、金属・セラミクス・炭素系材料のトライボロジー、メカノケミストリー	kuwa
13 応用数学	教授	マツオカ テヒロ 松岡 千博	流体力学、パターン形成、カオス力学系における数理的な研究、特に界面や渦層の非線形運動の数値的解析	cmatsuoka

次ページに続く

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
14 材料力学	教授	ミムラ コウジ 三村 耕司 ※	材料力学、塑性力学、固体力学、材料強度学、衝撃工学、実験力学	mimura
	准教授	ウメダ ツトム 榎田 努	材料力学、固体力学、衝撃工学、動的構造解析、損傷力学	umedat
	准教授	リク イサム 陸 偉	計算科学、生体医工学、生体材料学	riku
15 機械設計工学	教授	イシハラ マサユキ 石原 正行	弾性数理解析、湿熱弾性学、電気弾性学、グリーンマテリアルの固体力学	ishihara
16 バイオ生産 システム工学	教授	フクダ ヒロカズ 福田 弘和	結合振動子システム、同期制御、パターン形成、複雑ネットワーク制御、植物工場	fukuda
	助教	フジナガ タクヤ 藤永 拓矢	フィールドロボティクス、農業ロボット、水中ロボット	tfujinaga
17 機械計測工学	講師	ミズタニ アキオ 水谷 彰夫	計測工学、応用光学、ナノフォトニック・デバイス	mizutani
18 システム 制御学	講師	コバヤシ トモアキ 小林 友明	システム制御学、実時間制御、最適制御、制御理論応用、メカトロニクス	kobayashi
19 機械力学	教授	シントニ アツヒコ 新谷 篤彦	振動工学、耐震工学、流体構造物連成振動、アクティブ制振、人間工学、振動利用	shintani
	准教授	ナカガワ チヒロ 中川 智皓	機械運動学、移動システム、機構学応用	chihiro
20 伝熱工学	教授	スガ カズヒコ 須賀 一彦 ※	伝熱工学、乱流モデル、多孔体乱流、格子ボルツマン法、ナノ・マイクロ熱流動	suga
	准教授	カナダ マサユキ 金田 昌之	自然対流、数値流体力学、液滴、磁化力対流、電磁流体力学	mkaneda
	准教授	クワタ ユウスケ 桑田 祐丞	乱流工学、数値流体力学、壁乱流、乱流スカラー輸送	kuwata
21 動力工学	教授	セガワ ダイスケ 瀬川 大資	燃焼学、燃焼診断、内燃機関、宇宙環境利用実験	segawa.daisuke
	講師	カタオカ ヒデフミ 片岡 秀文	デトネーション、燃焼学、衝撃波、内燃機関	hkataoka
22 流体工学	教授	タカヒラ ヒロユキ 高比良 裕之	流体工学、キャピテーション、気泡力学、気液二相流、集束超音波	takahira
	准教授	オガサワラ トシユキ 小笠原 紀行	流体工学、気液二相流、気泡力学、流体計測	ogasawara
	講師	ナカジマ トモヤ 中嶋 智也 †	流体工学、機械工学と製造業技術	NNN
23 エネルギー システム工学	教授	ワクイ テツヤ 涌井 徹也	エネルギーシステム工学、数値最適化、エネルギーマネジメント、サイクル解析、ゼロカーボンエネルギーネットワーク、再生可能エネルギー	t-wakui
24 熱環境 システム工学	教授	キノシタ シンイチ 木下 進一	環境工学、都市熱環境対策技術、熱物性、人間熱科学、ふく射伝熱	kinosita
	助教	ヤスダ リュウスケ 安田 龍介	環境工学、大気拡散、大気汚染、局地気候	ryasuda
25 環境保全工学	教授	オオクボ マサアキ 大久保 雅章	環境保全工学、環境プラズマ、ゼロカーボンエネルギー変換、プラズマ材料科学	mokubo
	准教授	クロキ トモユキ 黒木 智之	環境保全工学、非熱プラズマ応用技術、排ガス処理、廃液処理	kuroki
	准教授	ヤマサキ ハルヒコ 山崎 晴彦	環境保全工学、低環境負荷エネルギー変換、磁気機能性流体、二酸化炭素サイクル	hyamasaki

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

※印の教員は、2025年3月退職予定

†印の教員は、2026年3月退職予定

1) カナデビア株式会社とのクロスアポイントメント教員

【都市系専攻】

都市系専攻では、現代都市が成長段階から成熟段階へ移行する転換期に必要とされる、幅の広い視野と総合的な判断力を備えた、高度専門職業人、あるいは研究者の養成を目指し、従来の建築学、土木工学の枠組みを超えて、成熟都市における先端的課題に向けてのプロジェクト研究を組めるような連携体制をとっている。

本専攻は、建築学分野及び都市学分野の2分野で構成する。

《建築学分野・都市学分野》

◆杉本キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 建築計画及び 建築構法	教授	トクオノ テツ 徳尾野 徹	集住体の計画と木域コミュニティの創出、建築ストック再生とそれによる地域再生、木造を中心とした構法計画・構法開発・耐久性計画、以上を統合する空間づくりのプロセスデザイン	tokuono
	准教授	イシヤマ ヒロキ 石山 央樹		ishiyama
	講師	ニシノ ユウイチロウ 西野 雄一郎		nishino.y
2 建築デザイン 及び建築史	教授	クラカタ シュンスケ 倉方 俊輔	建築設計、建築設計論、建築史	kurakata
	講師	ヤマグチ アキト 山口 陽登		yamaguchi-ak
3 都市計画	教授	カナ コウイチ 嘉名 光市	都市計画、都市再生デザイン、景観論、都市計画・デザイン史、コミュニティ・デザイン、エリア・マネジメント	kana
	講師	タカギ ユウリ 高木 悠里		takagi-yu
4 都市基盤計画	教授	ウチダ タカン 内田 敬	社会基盤施設・交通施設の建設・維持管理・運用の計画、交通の安全・環境の分析と対策、都市内回遊行動の分析と支援システム構築	uchida-ur
	准教授	ヨシダ ナガヒロ 吉田 長裕	国内外の都市交通政策、都市交通のパフォーマンス評価、交通に関わる空間設計	yoshida-na
5 建築環境工学	准教授	キシモト ヨシヒコ 岸本 嘉彦	材料特性を利用した室内熱湿気環境制御、建築壁体の劣化進行予測	kishimoto
6 建築情報学	講師	コバヤシ ユウキ 小林 祐貴	建築学における情報技術の利活用、幾何学や組合せ論などの数理に基づいた建築と都市の分析・設計手法の探求	kobayashi-y
7 地域環境計画	教授	ニシオカ マサトシ 西岡 真稔	建築・都市構造物の伝熱解析、ヒートアイランド対策、都市の熱環境評価、脱炭素化に向けた都市内のエネルギー需給構造の分析と評価	mnishioka
	教授	ナベシマ ミナコ 鍋島 美奈子	空調・給湯に関わる面的熱融通システム、都市熱環境調査と評価、都市農業のネットゼロエネルギー化手法	nabeshima
8 環境水域 工学 *1	教授	ソウマ アキオ 相馬 明郎	水圏生態系の保全・活用、生態系の数理モデル化、都市流域圏における社会・自然生態系の機構解明と動態予測	sohma
	准教授	エンドウ トオル 遠藤 徹	都市沿岸域における自然共生、沿岸水域の環境モニタリングと環境診断、浅海域の生態系サービス、自然再生事業による環境保全効果の検証	t.endo
9 都市リサイク ル工学 *2	教授	カンジョウ ヨシノリ 貫上 佳則 ㇵ	水質制御技術、水環境の評価、廃棄物・廃水からの資源・エネルギー回収	kanjo
	准教授	ミズタニ サトシ 水谷 聡	廃棄物・副産物・再生材料の有効利用における環境安全性評価、震災時の化学物質管理	miz
10 建築防災及び 風工学	教授	タニグチ テツロウ 谷口 徹郎 ㇵ	高層建物の風応答、大スパン構造物の風圧特性、耐風設計、低層建物に作用する風荷重評価	taniguchi.t
	講師	フルカワ サチ 古川 幸	鋼構造建物－杭基礎一体構造の防災性能の向上、接合部の終局耐震性能評価	furukawa-s

次ページに続く

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
11 建築構造・材 科学	教授	タニグチ ヨシヤ 谷口 与史也 ^ㇷ	各種材料（鋼、コンクリート、木）と架構形式の組合せによる耐震性能の向上、ジオポリマーや超弾性合金などの新材料を用いた持続可能・自己復元構造システムの開発、新しい免制振構造実現のための振動制御法の探究と設計法の構築、IoT センサを用いたモニタリングによる地震後残存性能の評価、AI をはじめとするデータ駆動型の次世代建築技術開発	ytaniguchi
	准教授	スズキ ユウスケ 鈴木 裕介		y-suzuki
	講師	カネコ ケンサク 金子 健作		kanekok
12 構造工学 ^{*3}	教授	キトウ ヒロアキ 鬼頭 宏明 ^ㇷ	鋼・コンクリート複合構造の力学的挙動と合理的設計法	kitoh
13 コンクリート 工学 ^{*3}	教授	ツノカケ ヒサオ 角掛 久雄	コンクリートの補修・補強、耐震、耐久性評価、鋼・コンクリートの複合構造、維持管理、低環境負荷材料	tsuno
14 橋梁工学・鋼 構造学 ^{*3}	教授	ヤマグチ タカシ 山口 隆司	鋼・合成橋梁の耐荷力・設計法、既設鋼橋の補修・補強法、耐震設計、維持管理システム、橋梁環境、座屈耐荷力・設計法、連結部の耐荷力・設計法	yamaguti-t
	助教	ハヤシ ゲン 林 厳	既設橋梁の補修・補強、連結部の耐荷力・設計法、橋梁ヘルスマニタリング、FRP 部材の信頼性評価、FRP 構造物の力学的挙動・動的応答	hayashi-g
15 地盤工学	准教授	ヤマダ スグル 山田 卓	地盤の液状化現象の調査・予測と対策、リサイクル材の地盤材料特性、土の破壊音の計測と地盤工学への利用、土の微小変形特性、地盤情報データベース	ymdsgr
	助教	オカダ ヒロヒサ 岡田 広久	豪雨による斜面崩壊対策、粘土地盤の圧密沈下	okada-hr
16 河海工学 ^{*4}	教授	シゲマツ タカアキ 重松 孝昌	構造物と流体の相互作用、波力発電、沿岸災害影響評価、港湾海域の水環境構造の修復、内湾環境の将来像研究、気候変動影響評価と適応策、広域複合災害	shige
	准教授	ナカジョウ ソウタ 中條 壮大	気象・海象災害の調査・解析・予測、台風、高潮、高波、気候変動、数値流体解析、可視化流動計測、画像計測、砂浜モニタリング、防災教育	nakajo
17 空間情報学	教授	ヨネザワ ゴウ 米澤 剛	地理情報システム（GIS）やリモートセンシングを用いた都市の空間分析、最適化原理にもとづく数値標高モデル（DEM）の作成、都市開発のための空間モデリング、持続的な都市発展を目的とした空間情報の活用	yonezawa
	准教授	スギモト ケンジ 杉本 賢二	地理情報システム（GIS）やリモートセンシングによる構造物の空間解析、都市構造物の時空間変動解析と物質ストック・フロー分析、夜間光と人間活動、数値標高モデル（DEM）を用いた人為的地形改変の把握	sugimoto

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

ㇷ印の教員は、2026年3月退職予定

*1 専門科目は「水圏生態工学・水圏環境工学」

*2 専門科目は「水処理工学・廃棄物工学」

*3 専門科目は「構造工学・橋梁工学」

*4 専門科目は「河川・海岸・水工学」

【電子物理系専攻】

現代工学全般の根幹をなす数理科学の基礎と応用及び、科学技術立国の基盤の一つである電子物理学に関する知識と展開力を身につけ、国際的に活躍しうる技術者・研究者を育成する。

本専攻は、電子物理学分野（電子物性コースおよび電子材料コースの2コース）の1分野で構成する。

《電子物理学分野》

電子物理学分野では、ナノサイエンスとナノテクノロジーの基礎学理と高度な専門知識を学び、電子物理学分野の最先端技術を通して高度化するエレクトロニクス社会に寄与する人材を育成する。

◆中百舌鳥キャンパス（電子物性コース）

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 量子物性	教授	トガワ ヨシヒコ 戸川 欣彦	スピントロニクス、磁性、超伝導、電子顕微鏡、電子線物理、電磁場応答の制御と操作	ytogawa
	准教授	コウサカ ユウスケ 高阪 勇輔	磁性、結晶成長、放射光、中性子散乱	koyu
2 ナノ光物性	教授	ヒガシワキ マサタカ 東脇 正高	半導体デバイス工学、半導体物理、酸化物・化合物半導体エレクトロニクス、パワーデバイス、高周波デバイス	higashiwaki
	准教授	ツツミ タクヤ 堤 卓也	半導体デバイス工学、半導体製造プロセス、高周波デバイス、半導体物理、化合物半導体エレクトロニクス、ミリ波応用	takuya.tsutsumi
3 有機半導体工学	准教授	コバヤシ タカシ 小林 隆史	有機半導体工学、有機薄膜太陽電池、有機EL素子、デバイス物理	tkobaya
	准教授	ナガセ タカン 永瀬 隆	有機半導体工学、分子エレクトロニクス、ナノ電子物性、半導体物性、ナノ加工	nagase
4 ナノデバイス	教授	アキタ セイジ 秋田 成司	ナノ固体物性、ナノ材料、ナノ電子物性	akita
	准教授	アリエ タカユキ 有江 隆之	低次元材料、フォノンエンジニアリング、フォノン結晶、ナノ熱物性	arie
	准教授	ヨコシ ノブヒコ 余越 伸彦	ナノ光物性、ナノ構造半導体、量子情報理論	n.yokoshi
5 集積デバイス	教授	アンドウ ユウイチロウ 安藤 裕一郎	半導体スピントロニクス、スピントロニクス、スピン物性、トポロジカル物性、集積回路、集積デバイス	yuichiro.ando
	准教授	ヤスダ マサアキ 安田 雅昭	電子ビーム工学、半導体リソグラフィ、走査電子顕微鏡、ナノ計算科学	yasuda.masaaki
6 量子・光デバイス工学	教授	オカモト コウイチ 岡本 晃一	プラズモニクス、ナノフォトニクス、量子・光デバイス工学、レーザー応用	okamoto
	助教	マツヤマ テツヤ 松山 哲也	量子・光デバイス工学、半導体光物性、レーザー応用	matsuyama.tetsuya
7 機能デバイス物性	教授	フジムラ ノリフミ 藤村 紀文 ^ト	磁性強誘電体、磁性半導体、スピントロニクスデバイス、ニューロモルフィック論理素子、ニューロモルフィックセンサー、機能融合型パワーデバイス	fujim
	准教授	ヨシムラ タケシ 吉村 武	酸化物エレクトロニクス、機能半導体デバイス、強誘電体	yoshimura
8 非線形動力学・複雑系	教授	ホリタ タケヒコ 堀田 武彦	非線形動力学、カオス、ベイスン構造、確率共鳴	t.horita
	准教授	オイカワ ノリコ 及川 典子	非線形物理、反応拡散系、ソフトマターの物理	noriko.oikawa
	助教	ハガ タイキ 芳賀 大樹	非平衡統計力学、物性基礎論、非線形動力学	taiki.haga
9 量子物理学	教授	ウオズミ タカユキ 魚住 孝幸	物性理論、強相関電子系、光物性	uozumi
	准教授	カトウ マサル 加藤 勝 ^ト	物性理論、電子相関、遍歴電子の磁性、超伝導	mkato76
	准教授	ハリキ アツシ 播木 敦	強相関電子系、第一原理計算、X線分光理論	hariki

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
10 固体物性	教授	イワズミ トシアキ 岩住 俊明 ^ㇷ	X線分光学、光誘起相転移	iwazumi
	教授	ミムラ コウジロウ 三村 功次郎	光電子分光、X線分光、固体電子物性、放射光、強相関電子系	k.mimura
	准教授	アンザイ ヒロアキ 安齋 太陽	強相関電子系、電子状態、放射光	anzai
	准教授	タグチ ユキヒロ 田口 幸広	正・逆光電子分光、固体表面電子分光、放射光、強相関電子系	y.taguchi
11 シリコンフォ トニクス	准教授	タカハシ ヤスシ 高橋 和	シリコンレーザー開発、フォトニック結晶、シリコンフォトニクス、半 導体微細加工、顕微分光	y-takahashi
12 表面界面物性	准教授	ノウチ リョウ 野内 亮	電界効果表面科学、ナノ界面制御、原子層デバイス、有機分子デバイス	r-nouchi

◆中百舌鳥キャンパス（電子材料コース）

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
13 光機能工学	教授	キン テギ 金 大貴	半導体ナノ粒子、ナノ粒子秩序構造体、光物性、光機能	kimtegi
	准教授	シブタ マサヒロ 渋谷 昌弘	機能性ナノ薄膜、超高速分光、電子物性、電子ダイナミクス	shibuta
	准教授	タケウチ ヒデオ 竹内 日出雄	半導体単結晶、エピタキシャル構造(含: 超格子、多重量子井戸)および ナノ薄膜等における光物性の解明とその機能応用	Hideo.Takeuchi_PhD
	講師	ナシマ シゲキ 菜嶋 茂喜	超短光パルス技術、テラヘルツ分光技術開発、分光センシング応用	nashima
14 数理工学	教授	テライ アキラ 寺井 章 ^ㇷ	分子性固体、有機導体、非線型励起、ソリトン、ポーラロン、光学応 答、電子状態制御、強相関電子系、計算物理学	terai.akira
	准教授	スギタ アコム 杉田 歩	非平衡統計力学、量子カオス、量子情報	a.sugita
15 表面機能工学	教授	シコウ エイジ 仕幸 英治	スピントロニクス、磁性体、金属、半導体、有機分子、薄膜、接合、多 層膜	shikoh
	准教授	コバヤシ アタル 小林 中 ^ㇷ	表面電子物性、ナノスケール分析、電子・イオンビーム点源	a-kobayashi
	准教授	フクダ ツネオ 福田 常男 ^ㇷ	固体表面電子物性、プローブ顕微鏡、機能デバイス、有機無機ハイブリ ッドデバイス	d21911s
	助教	タナカ ケンジ 田中 健司		tanaka-knj
16 パワーエレクト ロニクス	教授	シゲカワ ナオテル 重川 直輝	太陽電池、パワーデバイス	shigekawa
	准教授	リョウ ケンボ 梁 剣波	ダイヤモンド、半導体デバイスの放熱物性、異種材料接合界面物性、ナ ノ構造	liang
	准教授	タケチ セイジ 武智 誠次	宇宙塵、放射線、粒子検出器	takechi
17 プラズマ工学	教授	シラフジ タツル 白藤 立	プラズマ材料プロセス、プラズマ物理、プラズマ化学	shirafuji
	教授	オ ジュンソク 吳 準席	大気圧プラズマ材料プロセス、プラズマ計測、プラズマライフサイエン ス	jsoh

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

^ㇷ印の教員は、2026年3月退職予定

【電気電子系専攻】

電気電子系専攻では、電力システム、電気電子システム、システム制御技術、情報通信技術、ネットワーク技術、電気情報システム、知能ロボティクス及び生産システム設計・管理技術に関連した高度な専門知識を持ち、自立して研究活動を行い、先導的な電気電子システム工学領域を創生することのできる技術者・研究者を育成する。

本専攻は、電気電子システム工学分野の1分野で構成する。

《電気電子システム工学分野》

◆中百舌鳥キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 モータドライブシステム	教授	モリモト シゲオ 森本 茂雄 ※	モータドライブ、電磁エネルギー変換、パワーエレクトロニクス	morimoto.s
	准教授	イノウエ ユキノリ 井上 征則	モータドライブ、パワーエレクトロニクス、エネルギー変換	yukinori.inoue
	准教授	サナダ マサユキ 真田 雅之	モータドライブ、モータ設計、電磁界解析	m.snd
2 電力システム	教授	イシガメ アツシ 石亀 篤司	電力システム解析・制御、最適化探索法、知的制御	ishigame
	講師	タカヤマ サトシ 高山 聡志	電力システムの運用・制御、再生可能エネルギーの運用・制御	takayama
3 電気システム制御	教授	コニシ ケイジ 小西 啓治	制御システム、カオス・複雑系、システムダイナミクス	konishi-ees
	准教授	ハラ ナオユキ 原 尚之	制御システム、モデル予測制御、制御応用	naoyuki.hara
	准教授	スギタニ ヨシキ 杉谷 栄規	制御システム、非線形力学、複雑系ネットワーク	sugitani
4 光機能システム	教授	ヤマダ マコト 山田 誠 †	情報通信工学、光アンプと次世代ネットワーク、光センシングシステム	yamada.makoto
	准教授	コヤマ オサノリ 小山 長規	IP over WDM ネットワーク、光ファイバセンサ、ウェブベースデータ処理システム	koyama
	准教授	イケダ カナミ 池田 佳奈美	光応用計測、光コンピューティング、光信号処理、光機能システム	kanami
5 光電波システム	教授	クボタ ヒロカズ 久保田 寛和	光ファイバ通信システム、非線形光学、空間多重光通信	hiroказu.kubota
	准教授	ミヨシ ユウジ 三好 悠司	光ファイバ通信、光信号処理、光 A/D 変換	Miyoshi.Yuji
6 知的情報通信	教授	リン カイ 林 海	無線通信、信号処理	lin
	助教	チャン イハン 江 易翰	無線ネットワーク、エッジコンピューティング	chiang
7 マネジメントシステム	教授	モリザワ カズコ 森澤 和子	システム最適化、生産管理、スケジューリング、オペレーションズリサーチ、多目的意思決定	morizawa
	准教授	クスカワ エツコ 楠川 恵津子	サプライチェーンマネジメント、オペレーションズリサーチ、システム最適化、品質管理	Etsuko-Kusukawa
	講師	モリタ ダイスケ 森田 大輔	スケジューリング、プロジェクト管理、生産管理	morita
8 電気情報システム	教授	ノグチ ヒロシ 野口 博史	看護工学、IoT、非拘束生理量計測、人間行動計測、センサネットワーク、メカトロニクス、みまもり工学	hnoguchi
	准教授	ミヤザキ ダイスケ 宮崎 大介	立体表示システム、光三次元計測、光機能デバイス、光生体計測、高機能画像計測	miyazaki
	講師	ヨシモト カヨ 吉本 佳世	生体情報センシング、医用画像処理、医療支援、3次元計測	yoshimoto
9 知能ロボティクス	教授	タクボ トモヒト 田窪 朋仁	ロボティクス、運動制御、自律移動ロボット、知能システム	takubo
	准教授	ツジオカ テツオ 辻岡 哲夫	通信システム、Web データベース、計測システム、無線応用	tsujioka-R4

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

※印の教員は、2025年3月退職予定

†印の教員は、2026年3月退職予定

【物質化学生命系専攻】

人類社会の持続的発展には新しい材料開発及び有限資源の有効かつ循環的な活用が必要であり、物質の新しい科学と利用技術を創造でき国際的に活躍しうる技術者・研究者を育成する。

本専攻は、応用化学分野、化学工学分野、マテリアル工学分野及び化学バイオ工学分野の4分野で構成する。

《応用化学分野》

応用化学分野では、基礎から応用に至るまで化学の学理を総合的に理解し、化学物質の分析、合成、および物性評価に関する幅広い知識と確かな技術を身につけるとともに、豊かな人間性と深遠な倫理観を併せもつ、知力と活力に満ちた化学技術者を養成する。

◆中百舌鳥キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 分析化学	教授	ヒサモト ヒデアキ 久本 秀明	化学センシング、バイオセンシング、分子認識、化学センサー用変色色素、マイクロ分析デバイス	hisamoto
	准教授	エンドウタツロウ 遠藤 達郎	バイオセンサ、ナノフォトニクス、プラズモニクス、マイクロトータルアナリシスシステム	t_endo
2 無機化学	教授	ハヤシ アキトシ 林 晃敏	無機材料化学、ガラス材料、固体電解質、全固体蓄電デバイス	akitoshihayashi
	准教授	サクタ アツシ 作田 敦	無機材料化学、電極活物質、全固体電池	saku
	助教	モトハシ コウタ 本橋 宏大	固体イオニクス、固体電解質、全固体電池	kota.motohashi
3 物理化学	教授	マツオカ マサヤ 松岡 雅也	触媒化学（水素・二酸化炭素利用）、金属有機構造体（MOF）、光エネルギー変換、DFT・MD 計算	matsuoka
	准教授	カメガワ タカシ 亀川 孝	物理化学、触媒化学、環境触媒、ナノ触媒、多孔性材料化学、分光化学、計算化学	kamegawa
	准教授	タケウチ マサト 竹内 雅人	可視光応答型光触媒、環境浄化、赤外分光法、近赤外分光法、表面濡れ性、触媒反応機構	masato.takeuchi
	准教授	ホリウチ ユウ 堀内 悠	太陽光エネルギー変換、光触媒水素製造、可視光応答型光触媒、多孔性金属錯体	yu.horiuchi
4 電気化学	教授	イノウエ ヒロシ 井上 博史	電気化学的エネルギー変換、蓄電デバイス、燃料電池用電極触媒、水素貯蔵	inoue-chem
	准教授	チク マサノブ 知久 昌信	電気化学、二次電池、キャパシタ	chiku
	准教授	ヒグチ エイジ 樋口 栄次	燃料電池用電極触媒、電気化学エネルギー変換、電池と電気化学材料	higuchi
5 物性有機化学	教授	イケダ ヒロシ 池田 浩	光化学、有機電子移動化学、ヘテロ元素化学、有機反応機構、有機合成化学、機能性有機材料	hiroshi_ikeda
	准教授	マツイ ヤスノリ 松井 康哲	有機光化学、光エネルギー変換、レーザー化学、反応速度論、計算化学、有機金属化学	matsui_yasunori
6 有機機能化学	教授	ヤギ シゲユキ 八木 繁幸	有機材料化学、機能性色素化学、有機エレクトロニクス、有機電界発光素子、蛍光材料、りん光材料	yagi
	准教授	マエダ タケン 前田 壮志	機能性色素化学、超分子化学、有機エレクトロニクス、有機太陽電池、化学センシング	tmaeda
	准教授	コダマ シンタロウ 小玉 晋太郎	有機合成化学、金属錯体化学、有機金属化学、酸化反応、金属酸化物クラスター	skodama
	助教	スズキ ナオヤ 鈴木 直弥	有機機能化学、発光性色素、機能性 π 電子系、有機合成、有機光化学	nsuzuki

次ページに続く

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
7 合成高分子化学	教授	マツモト アキカズ 松本 章一 ※	高分子合成、高分子材料化学、制御ラジカル重合、有機結晶化学、高分子複合材料、機能性高分子材料	akimatsumoto
	准教授	オカムラ ハルユキ 岡村 晴之	高分子材料化学、光機能性高分子、高分子の架橋と分解	okamura
	准教授	スズキ ヤスヒト 鈴木 祥仁	高分子材料、非晶高分子、結晶化、反応速度解析、界面物性、高分子複合材料	suzuki_y
8 生体高分子化学	教授	ハラダ アツシ 原田 敦史	生体機能材料化学、自己組織化高分子、ナノ医療、ドラッグデリバリーシステム	atsushi_harada
	准教授	キタヤマ ユキヤ 北山 雄己哉	コロイド界面化学、高分子合成化学、ドラッグデリバリーシステム、光反応、分子認識化学	kitayama
9 表面計測化学	教授	シイギ ヒロン 椎木 弘	生物電気化学、生物分析、表面化学、生体計測、分子認識、ナノバイオ材料	shii
	准教授	サダナガ ヤスヒロ 定永 靖宗	大気化学、大気汚染物質の(連続)計測、大気汚染物質の長距離輸送、光化学オキシダントとその前駆物質	sadanaga

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

※印の教員は、2025年3月退職予定

《化学工学分野》

化学工学分野では、資源循環を総合的に考慮した化学プロセスの構築を基本理念とした化学工学の先端的、体系的知識に基づき、循環型社会の要請に応え得る、専門知識と応用能力を身に付けた人材を育成する。

◆中百舌鳥キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 微粒子工学	教授	ノムラ トシユキ 野村 俊之	微粒子工学、ナノ・メソ材料創製、微生物コロイド、エアロゾル工学	tsnomura
	准教授	ヤマモト タクヤ 山本 卓也	微粒子工学、界面移動現象論、数値解析、相変化、ソノケミストリー	takuya.yamamoto
2 資源工学	教授	イワサキ トモヒロ 岩崎 智宏	資源工学、粉体工学、機能性ナノ粒子、メカノケミストリー、数値シミュレーション	tomohiro.iwasaki
3 装置工学	教授	ワタノ サトル 綿野 哲	装置工学、プロセスシステム工学、粉体工学、流動層工学、ナノテクノロジー、計測工学、製剤・薬剤学	watano
	准教授	ナカムラ ヒデヤ 仲村 英也	装置工学、プロセスシステム工学、粉体工学、全固体電池、粉体シミュレーション、分子シミュレーション	hideyanakamura
	准教授	オオサキ シュウジ 大崎 修司	装置工学、プロセスシステム工学、粉体工学、計算粒子工学、材料工学	shuji.ohsaki
4 反応工学	教授	オギノ ヒロヤス 荻野 博康	反応工学、生物化学工学、微生物工学、タンパク質工学、酵素工学	ogino
	准教授	ヤマダ リョウスケ 山田 亮祐	反応工学、生物化学工学、微生物工学、タンパク質工学、酵素工学	ryamada
	准教授	マツモト タクヤ 松本 拓也	反応工学、生物化学工学、微生物工学、タンパク質工学、酵素工学	t_matsumoto
5 分離工学	教授	ムトウ アキノリ 武藤 明德 ※	分離プロセス工学、機能性炭素材料、マイクロリアクター、吸着、イオン交換、抽出、光触媒	amuto
6 材料プロセス工学	教授	サイトウ タケヤス 齊藤 丈靖	材料プロセス工学、めっき、CVD反応工学、強誘電体材料、ワイドバンドギャップ材料、半導体デバイス用配線材料のプロセス工学	tsaito
	准教授	オカモト ナオキ 岡本 尚樹	材料プロセス工学、電気化学工学、微小めっき、めっきプロセス（電折、無電解）、材料工学	w21056l
7 環境・エネルギープロセス工学	教授	ヤスダ マサヒロ 安田 昌弘	環境エネルギープロセス工学、反応工学、生物化学工学、重合工学、生体組織工学	m-yasuda
	准教授	ホリエ タカフミ 堀江 孝史	環境エネルギープロセス工学、移動現象工学、反応工学、プロセス強化、マイクロリアクター、晶析	horie
	助教	オキタ エリカ 沖田 愛利香	環境エネルギープロセス工学、非平衡科学、ナノマイクロシステム、アクティブソフトマター	eokita
8 ナノ化学システム工学	准教授	シュウ イェン 許 岩	ナノ化学システム工学、ナノデバイス工学、マイクロチップ工学、1分子工学、細胞物質工学、酵素分子システム工学、ナノメディシン	xuy

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

※印の教員は、2025年3月退職予定

《マテリアル工学分野》

マテリアル工学分野では、金属、セラミックス、ポリマー材料等広範な材料科学技術を身に付け、最先端の材料開発を通して循環型社会の要請に柔軟に対応できる人材を育成する。

◆中百舌鳥キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 生体材料	教授	ナカヒラ アツシ 中平 敦 ※	バイオマテリアル、アパタイト、インターカレーション、触媒材料、ナノセラミックス	nakahira
	准教授	トクドメ ヤスアキ 徳留 靖明	固体酸/塩基触媒材料、液相プロセス、界面・コロイド化学、バイオナノテクノロジー、粘土鉱物、層状化合物	tokudome
2 材料構造物性	教授	モリ シゲオ 森 茂生	構造物性、ナノスケール構造解析、電子顕微鏡、全固体電池材料、強制的秩序物質	moris
3 ナノテク基盤材料	教授	タカハシ マサヒデ 高橋 雅英	有機-無機ハイブリッド、自己組織化、ナノ材料、スマート材料、溶液プロセス、ソフトアクチュエータ、電子・光機能性材料	masa
	准教授	オカダ ケンジ 岡田 健司	ナノ材料、多孔質材料、無機材料、有機-無機ハイブリッド材料、有機-無機界面	k_okada
	助教	フカツ アリサ 深津 亜里紗	有機-無機ハイブリッド材料、ナノ材料、ソフトアクチュエータ、DNA材料、自己組織化、錯体化学	fukatsu
4 先端素形材	教授	カネノ ヤスユキ 金野 泰幸	高温構造材料、金属間化合物、合金設計、組織制御、結晶塑性	y_kaneno
	准教授	イノウエ ヒロユキ 井上 博之	金属の腐食と防食、電気化学測定、放射廃棄物の地層処分、電気化学ノイズ法、腐食モニタリング	hiro-inoue
5 信頼性材料	教授	タキガワ ヨリノブ 瀧川 順庸	ナノ・アモルファス材料創製、ナノ組織制御、粒界塑性、高温塑性	takigawa
6 先端高分子材料	教授	オオノ コウジ 大野 工司	高分子、精密重合、微粒子、コロイド、自己組織化	kohji.ohno
7 材料設計理論	教授	スズキ ミチト 鈴木 通人	材料設計、物性理論、磁性、強相関物質、第一原理計算、マテリアルズ・インフォマティクス	mts
8 複合ナノ材料	准教授	マキウラ リエ 牧浦 理恵	ナノ材料、ナノシート、エネルギー材料、多孔性金属錯体、錯体化学、表面/界面科学、薄膜、電子デバイス	rie.makiura
9 計算材料科学	准教授	イケノ ヒデカズ 池野 豪一	計算材料科学、第一原理計算、マテリアルズインフォマティクス、電子分光、触媒、無機蛍光体	h-ikeno
10 電磁応答材料	准教授	キムラ ケンタ 木村 健太	磁性、強誘電性、キラリティー、マルチフェロイック材料、光機能材料、遷移金属化合物、物質探索	kentakimura
11 バイオエレクトロニクス材料	准教授	トコナミ シホ 床波 志保	バイオセンサ、光学分析、マイクロ・ナノ構造体、有用細菌、微生物発電、環境・エネルギー	tokenami

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

※印の教員は、2025年3月退職予定

《化学バイオ工学分野》

化学と生命科学の両面から分子と物質のもつ多彩な性質を解明し、分子・物質・材料の設計創製し、抗体・核酸・細胞などの医薬の分野で技術革新を行い、環境、健康など諸問題を解決し、持続可能な未来を創造できる人材を育成する。

◆杉本キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 物理分析化学	教授	ツジ コウイチ 辻 幸一	X線微量元素分析法の開発と蛍光X線元素イメージングの手法開発、これら手法の材料解析や環境分析への応用	k-tsuji
2 無機材料化学	教授	ヤマダ ユウスケ 山田 裕介	金属錯体およびナノ粒子集合体を利用した活性点構造が明らかな固体触媒材料の開発とエネルギーならびに環境関連化学への応用	ymd
	准教授	アリヨシ キンゴ 有吉 欽吾	リチウムイオン電池、次世代電池用電極材料、リチウムインサージョン反応の固体電気化学	ariyoshi
3 有機材料化学	教授	コバタケ セイヤ 小島 誠也	光機能性有機結晶材料の設計と固体物性制御、光機能性高分子材料の合成と物性評価、分子機能素子の開発	kobatake
	講師	キタガワ ダイチ 北川 大地		kitagawa
4 触媒有機化学	准教授	タムラ マサズミ 田村 正純	カーボンニュートラルや資源の高度循環に資する高機能触媒系の設計と新規触媒反応系開発	mtamura
5 機能分子化学	教授	サトウ エリコ 佐藤 絵理子	制御重合反応の開発、高分子反応の精密制御、バイオマス活用、刺激応答性材料・機能性接着材料・界面機能材料の設計と開発	sato-eriko
6 高分子化学	教授	ホリベ ヒデオ 堀邊 英夫	多成分系高分子の相溶性と結晶構造解析、フィラー分散高分子の導電性評価、感光性高分子の開発、活性種と有機化合物との化学反応性解析	hhoribe
7 反応化学工学	教授	コメタニ ノリツグ 米谷 紀嗣	亜臨界・超臨界流体中の反応解析と工学的利用、極限環境下のバイオマスの物理化学的研究、光触媒の環境化学への応用	kometani
8 免疫工学	准教授	ユバ エイジ 弓場 英司	ナノ医療、ドラッグデリバリー、機能性高分子化学、生体材料、ワクチン、免疫療法	yuba
9 生物化学工学・分離工学	准教授	イガラシ コウイチ 五十嵐 幸一	医薬等の有機化合物の晶析操作における粒径及び多形の制御、新規晶析装置の開発、バイオマスの有効利用	igarashi
10 生体機能工学	教授	ナガサキ タケシ 長崎 健	バイオポリマーをベースとする医用材料（DDS・ホウ素中性子捕捉療法用ホウ素薬剤・組織接着剤・癒着防止剤）の創製、がん微小環境の人工的再構築とがん治療増感システムの開発、スフィンゴ脂質類縁体の合成・天然物を基にした新規抗がん剤及び抗炎症剤の開発	nagasaki
	講師	アズマ ヒデキ 東 秀紀		azumah
11 細胞工学	教授	アズマ マサユキ 東 雅之	微生物と細胞表層をキーワードとした細胞の新しい機能の発掘と合成生物工学的手法による新機能細胞の構築、それら有用細胞の工学的な応用からの医薬、環境・エネルギー、食品分野への展開	azuma
	准教授	オジマ ヨシヒロ 尾島 由紘		ojima
12 生物分子工学	教授	キタムラ マサヤ 北村 昌也	酸化還元タンパク質の構造機能相関、酵素の工学的応用	kitamura
	准教授	ナカニシ タケシ 中西 猛	バイオ医薬創出を目指した人工抗体の設計と遺伝子工学技術による生産	nakanishi
13 生体材料工学	教授	タチバナ アキラ 立花 亮	RNA干渉、RNA編集、ゲノム編集や合成生物学の手法を用いた、核酸医薬、細胞医薬の開発	akira-tachibana
14 創薬生命工学	教授	タチバナ タロウ 立花 太郎	ゲノム編集など生命工学技術を応用した創薬研究、高性能モノクローナル抗体作製法の開発、バイオ医薬品の創製、診断および治療応用を目指したモノクローナル抗体の作製、がん治療を目的とした生命工学研究	taro-tachibana
	講師	ヨコヤマ チカコ 横山 智哉子		c-yokoyama

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

【量子放射線系専攻】

量子放射線系専攻は、放射線やイオン、電子などの量子ビームを様々な分野へ応用する工学分野である。本学の大規模放射線施設を利用した実践的教育を通して、量子放射線に関する高度な科学技術と研究能力を身につけ、放射線の安全文化を理解し、現代社会の発展に寄与する技術者・研究者を育成する。

《量子放射線工学分野》

◆中百舌鳥キャンパス

研究グループ	職名	氏名	主たる研究内容等	メールアドレス
1 量子線材料科学	教授	ウメザワ ケンジ 梅澤 憲司 <small>ㇷ</small>	表面科学（低速イオン/原子散乱解析、LEED/AES, STM, RBS/Channeling）、表面分析装置開発、超高真空	umezawa
	助教	コジマ タカオ 小嶋 崇夫	原子力プラント工学、放射線プロセス工学、放射線環境下での遠隔操作技術、品質保証、高経年化プラント保守技術、廃止措置	Kojima.takao
2 環境計測科学	教授	ミヤマル ヒロユキ 宮丸 広幸	放射線計測学、放射線物理学、放射線シミュレーション	miyamaru
3 量子線エネルギー反応科学	教授	ホリ フミノブ 堀 史説	陽電子科学、格子欠陥、照射効果、水素吸蔵、金属材料、半導体、ナノ粒子、アモルファス金属、機能性材料、加速器照射	horif
	准教授	タナカ ヨシハル 田中 良晴 <small>※</small>	放射線影響、放射線防護、分子遺伝学	yoshitan
	助教	キヨダ シュンジ 清田 俊治 <small>ㇷ</small>	多核錯体の合成	kiyoda
4 量子ナノ材料科学	教授	カワマタ シュウイチ 川又 修一 <small>ㇷ</small>	超伝導体、磁性体、化合物半導体、磁気測定、電気伝導測定、微細加工	s-kawamata
	准教授	ツクイ シゲキ 津久井 茂樹	量子物性科学工学、エネルギー変換材料（燃料電池、熱発電素子、水素吸蔵合金、太陽電池等）、機能性薄膜材料・デバイス	a21630n
5 放射線安全管理学	教授	マツウラ ヒロト 松浦 寛人 <small>ㇷ</small>	プラズマ理工学、核融合、原子力工学、プラズマ環境応用、放射線安全管理	matsuura
	准教授	アキヨシ マサフミ 秋吉 優史	放射線安全管理、放射線計測、核融合炉ダイバータ材料評価、放射線教育コンテンツ開発、量子線による感染制御	akiyoshi-masafumi
	准教授	アサダ リョウコ 朝田 良子	放射線生物学、食品科学、微生物制御学、殺菌工学、ハイパーサーミア	asada.ryoko

(2024年10月1日現在)

メールアドレス欄に記載の内容に続けて「@omu.ac.jp」を付加してください。

※印の教員は、2025年3月退職予定

ㇷ印の教員は、2026年3月退職予定